

第1章 総 則

(趣 旨)

第1条 群馬大学情報学部（以下「本学部」という。）に関する事項は、群馬大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(目 的)

第2条 本学部は、高度情報化社会において、情報と結びつく多様な分野を融合した学問体系としての情報学の創造に基づいて、情報技術の創出と利活用を可能とする知識基盤を備え、持続可能でインクルーシブな社会の発展と課題解決に寄与できる人材を養成し、地域社会や国際社会に貢献することを目的とする。

第2章 教育課程

(学 科)

第3条 本学部に、次の学科を置く。

情報学科

2 前項の学科に学科長を置く。

(プログラム)

第4条 前条の学科に次のプログラムを置く。

- (1) 人文情報プログラム
- (2) 社会共創プログラム
- (3) データサイエンスプログラム
- (4) 計算機科学プログラム

2 本学部学生は、第2年次前期の始めにいずれかのプログラムに配属させる。

(履修要件)

第5条 学生は、教養教育科目及び専門教育科目について別表第1に定めるところに従い、所定の単位を修得しなければならない。

(単位の計算)

第6条 各授業科目の単位の計算は、次の基準による。

- (1) 講義及び演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(履修手続)

第7条 学生は、各学期開始後速やかに、履修しようとする授業科目（授業題目を含む）

以下同じ。)を学部長に届け出なければならない。

- 2 一の学年度に履修登録できる単位数は、46単位以内とする。ただし、別に定める科目及び第3年次編入学生については、適用しない。
- 3 前項の規定にかかわらず、前年度までの単位を優れた成績(GPA4.0以上)をもって修得した場合は上限を超えて履修を認めることがある。

第3章 試験

(試験)

第8条 学生が試験(学習報告を含む。以下同じ。)を受けることのできる科目は、第7条により届け出た授業科目に限る。ただし、平常の出席状況等により、受験を許可しないことがある。

(成績評価及び単位認定手続)

第9条 授業科目の成績の評価は、試験、学習状況等によって担当教員が行うものとし、合格者に対しては、担当教員の評価に基づき、教授会の議を経て、学部長が単位を認定する。

(修得単位)

第10条 学生が既に修得した単位及びその評価については、取り消すことはできない。

- 2 学生が同一授業科目を2回以上履修した場合においても、改めて単位を与え、又は評価を改定することは行わない。

(再履修)

第11条 学生が、試験に不合格となった授業科目について再履修を希望する場合は、次の学期以後に改めてその科目を履修し、受験しなければならない。

(追試験)

第12条 病気その他やむを得ない事情のため、定められた期日に受験できなかった者は、追試験を願い出ることができる。

- 2 追試験を受けようとする者は、受験できなかった授業科目の試験施行の日から2週間以内に、次の書類を添えて学部長に願い出なければならない。

- (1) 病気により受験できなかった者は、医師の診断書
- (2) その他の理由により受験できなかった者は、これを証明する書類

- 3 理由が正当と認められた者には、別に定める期間内に追試験を行う。

第4章 編入学、転入学、再入学、転学部、転プログラム

(第3年次編入学)

第13条 学則第29条第3項に定める第3年次編入学を志願する者には、別に定めるところにより選考を行い、学長が入学を許可する。

- 2 前項の規定により入学を許可された者の卒業の要件等については、別に定める。

(編入学、転入学及び再入学)

第14条 編入学、転入学又は再入学を志願する者には、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考を行い、学長が入学を許可することがある。

- 2 前項により入学を志願する者は、所定の願書に次に掲げる書類を添え、学部長を経

て、学長に願ひ出るものとする。また、職歴を有する者は、これらの書類のほかに履歴書を添付しなければならない。

- (1) 卒業(見込)証明書
- (2) 成績証明書
- (3) 学習状況等調書
(転学部)

第15条 本学部へ転学部を志願する者には、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考を行い、学長が転学部を許可することがある。

2 前項により転学部を志願する者は、所定の願書に次に掲げる書類を添え、当該学部長を経て、学長に願ひ出るものとする。

- (1) 在学証明書
- (2) 成績証明書
- (3) 学習状況等調書

第16条 他学部への転学部を志願する者は、教授会の議を経て、学長に願ひ出て、その許可を得なければならない。

(転プログラム)

第17条 本学部内の転プログラムを志願する者があるときは、当該プログラムの教育・研究に支障のない場合に限り、教授会において選考の上、許可することがある。

2 前項の転プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

第5章 転学及び留学

(転学)

第18条 他の大学へ入学を志願しようとする者又は本学の他の学部へ改めて入学を志願しようとする者は、学長に願ひ出て、その許可を得なければならない。

第19条 本学部へ転学を志願する者は、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考を行い、学長が転学を許可することがある。

2 前項により転学を志願する者は、所定の願書に次に掲げる書類を添え、当該学部長を経て、学長に願ひ出るものとする。

- (1) 在学証明書
- (2) 成績証明書
- (3) 学習状況等調書

(留学)

第20条 外国の大学等で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

第6章 特別聴講学生、科目等履修生、研究生及び聴講生

(特別聴講学生)

第21条 学則第58条に規定する特別聴講学生に関しては、別に定める。

(科目等履修生)

第22条 学則第59条に規定する科目等履修生に関しては、別に定める。

(研究生)

第23条 学則第60条に規定する研究生に関しては、別に定める。

(聴講生)

第24条 学則第61条に規定する聴講生に関しては、別に定める。

第7章 外国人留学生

(外国人留学生)

第25条 学則第62条に規定する外国人留学生に関しては、別に定める。

第8章 教務及び厚生・補導

(教 務)

第26条 本学部の学生の教務に関する事項は、教務委員会において審議する。

(厚生・補導)

第27条 本学部の学生の厚生・補導に関する事項は、学生委員会において審議する。

第9章 規程の改廃

(規程の改廃)

第28条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が行う。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

別表第 1 (第 5 条関係)

(1) 教養教育科目

科目区分	授 業 科 目	卒 業 に 必 要 な 単 位 数	履修年次	備 考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー (1)	2	1 年	
	学びのリテラシー (2)	2	1 年	
	英語	4	1・2 年	1 年次 2 単位必修、2 年次 2 単位必修
	スポーツ・健康	3	1 年	
	データ・サイエンス	2	1 年	
	就業力	2	1 年	
教養育成科目	人文科学科目群	2 以上	1 4 1～4 年	人文情報プログラム及び社会共創プログラムは、選択英語・選択ドイツ語以外の 1 言語 4 単位を必修とする。
	社会科学科目群	2 以上		
	自然科学科目群	2 以上		
	健康科学科目群			
	外国語教養科目群			
	総合科目群	2 以上		
合 計		2 9		

別表第1 (第5条関係)

(2) 専門教育科目

区分	授 業 科 目	1年次		2年次		3・4年次		備 考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学部基盤教育科目	情報社会基礎論	◎2						
	情報科学入門	◎2						
	基礎情報処理演習		◎1					
	情報社会と倫理	◎2						
	経済学基礎論		◎2					
	確率統計1		◎2					
	プログラミング言語1a				◎2			1a, 1bいずれかを選択
	プログラミング言語1b							1b 必修 (デ・計)
	微分積分学1	◎2						
	線形代数学1	◎2						
	離散数学1			◎2				
	社会学のコミュニケーション基礎論		○2					
	情報メディア基礎論	○2						
	情報社会と人権	○2						
	マスメディア基礎論		○2					必修 (人)
	地域協働論			○2				
	経営学入門			○2				必修 (社)
	文献研究法			○2				
	研究方法基礎論		○2					必修 (人)
	事例研究法				○2			
	情報と職業						○2	
	行動科学研究法			○2				
	微分積分学2		○2					必修 (デ)
	線形代数学2		○2					必修 (デ)
	プログラミング言語2a				○2			2a, 2bいずれかを選択
	プログラミング言語2b							2b 必修 (計)
	データ構造				○2			必修 (計)
	アルゴリズム1					○2		必修 (計)
データベース					○2		必修 (デ)	
人文学情報プログラム科目	専門外国語1-A (ディスカッション・ディベート)			◎2				1A～Eから1科目選択 ※ 交換留学生 (派遣) の単位認定に限り、複数科目に振り替えることができる。
	専門外国語1-B (ライティング)							
	専門外国語1-C (リスニング)							
	専門外国語1-D (ビジネス・イングリッシュ)							
	専門外国語1-E (TOEIC/TOEFL)							
	専門外国語2-A (原書講読)			◎2				2A～2Eから1科目選択 ※ 交換留学生 (派遣) の単位認定に限り、複数科目に振り替えることができる。
	専門外国語2-B (原書講読)							
	専門外国語2-C (原書講読)							
	専門外国語2-D (原書講読)							
	専門外国語2-E (原書講読)							
	集中英語		2					
	海外実践研修 A				1			
	海外実践研修 B				1			

区分	授 業 科 目	1 年次		2 年次		3・4 年次		備 考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人文情報プログラム科目	Global Issues and SDGs	2						
	言語学的コミュニケーション論1			◎2				
	言語学的コミュニケーション論2				2			
	マス・コミュニケーション理論			◎2				
	社会学的コミュニケーション論				2			
	異文化コミュニケーション論			2				
	コミュニケーション心理学				2			
	コミュニケーション心理学演習					2		
	非言語コミュニケーション論					2		
	ソーシャルメディア論			◎2				
	身体メディア論					2		
	言語メディア論1					◎2		
	言語メディア論2					2		
	現代文化論					2		
	映像産業論			2				
	近・現代科学哲学					◎2		
	歴史情報論			◎2				
	芸術表象論					2		
	批判的メディアリテラシー				◎2			
	社会心理学			◎2				
	理論社会学			◎2				
	社会階層論			◎2				
	現代倫理学				◎2			
	計量文献学				◎2			
	比較社会情報学				2			
	情報社会と人間				2			
社会共創プログラム科目	政策情報論				◎2			◎印から10単位必修
	情報社会と私法				◎2			
	地方自治1					◎2		
	地方自治2					2		
	環境政策					◎2		
	情報法1			◎2				
	情報法2				2			
	環境法1					◎2		
	環境法2					2		
	公共政策論			◎2				
	政策分析					2		
	情報政治論					◎2		
	自然環境論			◎2				
	環境アセスメント					◎2		
	生物環境論				◎2			
	人間環境論					◎2		
環境科学演習			1					

区分	授 業 科 目	1 年次		2 年次		3・4 年次		備 考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
社会共創プログラム科目	環境アセスメント実習1					1		
	環境アセスメント実習2						1	
	環境政策実習						1	
	憲法1			◎2				
	憲法2				2			
	行政法1			◎2				
	行政法2				2			
	民法1			○2				
	民法2				2			
	経済法・知的財産法					2		
	企業法						2	
	刑法						2	
	ミクロ経済学			○2				
	マクロ経済学				○2			
	生活経済政策				2			
	金融論					2		
	情報産業基礎論			◎2				
	経営戦略論				2			
	会計学1			◎2				
	会計学2				2			
	会計情報					○2		
	経営組織論					○2		
	経営情報論					○2		
	地域社会学1			◎2				
地域社会学2				2				
地域メディア					○2			
社会調査実習1					2			
社会調査実習2						2		
データサイエンスプログラム科目	確率統計2			◎2				
	確率統計演習			◎2				
	多変量解析				◎2			
	機械学習				◎2			
	ベイズ統計学					○2		
	ノンパラメトリック解析					○2		
	空間統計					○2		
	数理最適化				◎2			○印から8単位必修
	経営科学			○2				
	意思決定と社会的選択				○2			
	ゲーム理論					○2		
	シミュレーション					○2		
	調査・実験デザイン				◎2			
	計量経済分析					○2		
医療A I				○2				

区分	授 業 科 目	1 年次		2 年次		3・4 年次		備 考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
データサイエンスプログラム科目	医療情報学						○2	
	学習データ分析						○2	
	プログラミング演習1(DS)			◎2				
	プログラミング演習2(DS)				◎2			
	データエンジニアリング					◎2		
	データマイニング演習						◎2	
	時系列解析					○2		
	画像処理						○2	
計算機科学プログラム科目	プログラミング演習1(CS)			◎2				
	プログラミング演習2(CS)				◎2			
	ソフトウェア演習1					◎2		
	ソフトウェア演習2						◎2	
	ソフトウェア演習3						2	
	情報科学実験1					◎1		
	情報科学実験2						◎1	
	人工知能			2				
	離散数学2				○2			
	離散数学演習				○2			通年開講
	論理設計				○2			
	オペレーティングシステム				○2			
	数理論理学				2			
	プログラミング言語3					○2		
	計算機システム					○2		
	関数型言語					2		
	情報理論					2		
	形式言語とオートマトン					○2		
	回路設計					2		
	コンピュータグラフィクス					2		
	プログラミング言語4						2	
	アルゴリズム2						2	
	デジタルシステム設計						2	
	ソフトウェア工学						2	
情報ネットワーク						2		
ネットワークプログラミング						2		
情報セキュリティ						2		
プログラミング言語技術						2		
物理学基礎1			2					
物理学基礎2				2				
キャリア教育科目	社会に学ぶ			2				
	仕事の現場を知るA (東和銀行・現代金融システム論)			2				4単位まで卒業単位に含むことができる
	仕事の現場を知るB (上毛新聞社・マスコミ論)			2				
	仕事の現場を知るC (NTTグループ・情報通信ネットワーク)			2				

○印から10単位を必修

区分	授 業 科 目	1 年次		2 年次		3・4 年次		備 考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
P 融 B 合 L 型	融合型PBL1					◎2		複数開講予定。 2科目4単位を必修
	融合型PBL2						◎2	
ゼミナール						◎4(3年次)		
卒業研究						◎4(4年次)		

※ ◎印は必修科目，○印は選択必修科目，無印は自由選択科目を示す。

(注) 卒業に必要な単位数

〔人文情報プログラム〕

区分・授業科目	必要単位数			備 考
学部基盤教育科目	33単位 以上	コア科目	◎印の科目19単位	
		文系科目	○印の科目14単位以上	6単位以上（マスメディア基礎論を必修）
		共通科目		研究方法基礎論を必修
		理系科目		6単位以上
プログラム科目	30単位 以上	◎印の科目12単位		
		○印及び無印の科目18単位以上		○印の科目から10単位以上を必修
自由選択科目	10単位以上	キャリア教育科目は4単位まで卒業単位に含めることができる。 学部基盤教育科目、プログラム科目、他プログラム科目の必要単位数を超えた場合は自由選択科目に振り替えることができる。		
他プログラム科目	10単位以上	データサイエンスPG科目及び計算機科学PG科目から8単位以上		
融合型PBL	4単位			
ゼミナール	4単位			
卒業研究	4単位			
計	95単位以上			

〔社会共創プログラム〕

区分・授業科目	必要単位数			備 考
学部基盤教育科目	33単位 以上	コア科目	◎印の科目19単位	
		文系科目	○印の科目14単位以上	6単位以上（経営学入門を必修）
		共通科目		
		理系科目		6単位以上
プログラム科目	30単位 以上	◎印の科目14単位		
		○印及び無印の科目16単位以上		○印の科目から10単位以上を必修
自由選択科目	10単位以上	キャリア教育科目は4単位まで卒業単位に含めることができる。 学部基盤教育科目、プログラム科目、他プログラム科目の必要単位数を超えた場合は自由選択科目に振り替えることができる。		
他プログラム科目	10単位以上	データサイエンスPG科目及び計算機科学PG科目から8単位以上		
融合型PBL	4単位			
ゼミナール	4単位			
卒業研究	4単位			
計	95単位以上			

(注) 卒業に必要な単位数

[データサイエンスプログラム]

区分・授業科目	必要単位数		備考	
学部基盤教育科目	33単位以上	コア科目	◎印の科目19単位	プログラミング言語 1 b を必修
		文系科目	○印の科目14単位以上	6単位以上
		共通科目		6単位以上 (微分積分学 2、線形代数学 2、データベースを必修)
		理系科目		
プログラム科目	30単位以上	◎印の科目20単位		
		○印の科目10単位以上		
自由選択科目	10単位以上	キャリア教育科目は4単位まで卒業単位に含めることができる。 学部基盤教育科目、プログラム科目、他プログラム科目の必要単位数を超えた場合は自由選択科目に振り替えることができる。		
他プログラム科目	10単位以上	人文情報 P G 科目及び社会共創 P G 科目から 8 単位以上		
融合型 P B L	4単位			
ゼミナール	4単位			
卒業研究	4単位			
計	95単位以上			

[計算機科学プログラム]

区分・授業科目	必要単位数		備考	
学部基盤教育科目	33単位以上	コア科目	◎印の科目19単位	プログラミング言語 1 b を必修
		文系科目	○印の科目14単位以上	6単位以上
		共通科目		6単位以上 (プログラミング言語 2 b, データ構造, アルゴリズム 1 を必修)
		理系科目		
プログラム科目	30単位以上	◎印の科目10単位		
		○印及び無印の科目20単位以上		○印の科目から10単位以上を必修
自由選択科目	10単位以上	キャリア教育科目は4単位まで卒業単位に含めることができる。 学部基盤教育科目、プログラム科目、他プログラム科目の必要単位数を超えた場合は自由選択科目に振り替えることができる。		
他プログラム科目	10単位以上	人文情報 P G 科目及び社会共創 P G 科目から 8 単位以上		
融合型 P B L	4単位			
ゼミナール	4単位			
卒業研究	4単位			
計	95単位以上			